

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年12月28日(2006.12.28)

【公表番号】特表2006-506445(P2006-506445A)

【公表日】平成18年2月23日(2006.2.23)

【年通号数】公開・登録公報2006-008

【出願番号】特願2004-569763(P2004-569763)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/568 (2006.01)

A 6 1 K 31/282 (2006.01)

A 6 1 K 31/513 (2006.01)

A 6 1 K 31/573 (2006.01)

A 6 1 K 31/675 (2006.01)

A 6 1 K 33/24 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 7/06 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 15/10 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 J 1/00 (2006.01)

C 0 7 J 41/00 (2006.01)

C 0 7 J 73/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/568

A 6 1 K 31/282

A 6 1 K 31/513

A 6 1 K 31/573

A 6 1 K 31/675

A 6 1 K 33/24

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 7/06

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 15/10

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 37/04

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 43/00 1 2 1

C 0 7 J 1/00

C 0 7 J 41/00

C 0 7 J 73/00

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

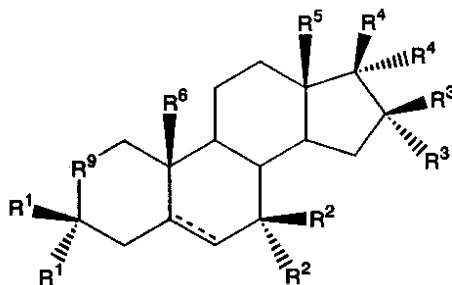
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

放射線の副作用または化学療法の副作用を治療、予防、もしくは回復するための薬学組成物であって、該組成物は、構造：

【化 1 0 0 1】



を有する化合物またはその塩を含み、

一方の  $R^1$  は、 $-OH$ 、エステル、エーテル、カルバメート、もしくはカーボネートであり、かつ他方の  $R^1$  は、 $-H$ であるかもしくは任意に置換された  $C_1 \sim 8$  アルキルであるか、または2つの  $R^1$  は、一緒になって、 $=O$ であり；

一方の  $R^2$  は、 $-H$ 、 $-OH$ 、エステル、エーテル、カルバメート、もしくはカーボネートであり、かつ他方の  $R^2$  は、 $-H$ であるかもしくは任意に置換された  $C_1 \sim 8$  アルキルであるか、または2つの  $R^2$  は、一緒になって、 $=O$ であり；

一方の  $R^3$  は、 $-H$ 、 $-OH$ 、ハロゲン、エステル、エーテル、カルバメート、もしくはカーボネートであり、かつ他方の  $R^3$  は、 $-H$ であるかもしくは任意に置換された  $C_1 \sim 8$  アルキルであり；

一方の  $R^4$  は、 $-NH_2$ 、 $C_1 \sim 8$  アルキルアミン、 $C_1 \sim 8$  ジアルキルアミン、 $-NH-C(O)-O$ -任意に置換された  $C_1 \sim 8$  アルキル、N結合アミノ酸、 $-NH-C(O)-CH_3$ 、 $-NH-C(O)-(CH_2)_m-CH_3$ 、 $-NH-C(O)-(CH_2)_m-NH_2$  であり、 $m$ は、1、2、3、4、5、もしくは6であり、かつ他方の  $R^4$  は、 $-H$ 、 $-CN$ であるかもしくは任意に置換された  $C_1 \sim 8$  アルキルであるか、または両方の  $R^4$  は一緒になって、 $=NOH$ であるかもしくは $=NO$ -任意に置換された  $C_1 \sim 8$  アルキルであり；

$R^5$  は、任意に置換された  $C_1 \sim 8$  アルキルであり；

$R^6$  は、 $-H$ であるかもしくは任意に置換された  $C_1 \sim 8$  アルキルであり；そして

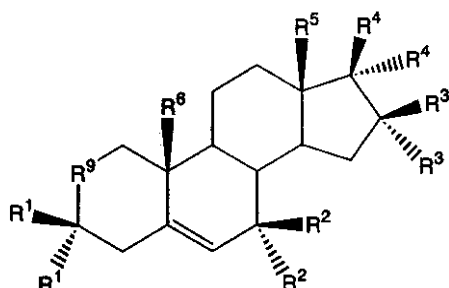
$R^9$  は、 $-C(R^{10})_2$  もしくは $-O-$ であり、 $R^{10}$  は、独立して、 $-H$ 、 $-OH$ 、エステル、エーテル、もしくは任意に置換された  $C_1 \sim 8$  アルキルである；

薬学組成物。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の薬学組成物であって、前記化合物は、構造：

【化 1 0 0 2】

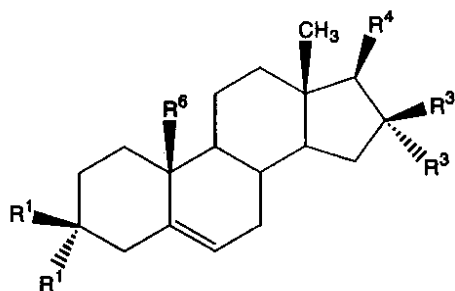


を有する、薬学組成物。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の薬学組成物であって、前記化合物は、構造：

【化 1 0 0 3】



を有する、薬学組成物。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の薬学組成物であって、

一方の  $R^1$  は、 $-OH$ 、カルバメート、もしくはカーボネートであり、かつ他方の  $R^1$  は、 $-H$ 、 $-CH_3$ 、 $-CH=CH_2$ 、 $-CCH$ 、もしくは $-CCCCH$ であり；

一方の  $R^3$  は、 $-H$ もしくは $-OH$ であり、かつ他方の  $R^3$  は、 $-H$ であり；そして

$R^6$  は、 $-H$ もしくは $-CH_3$ である；

薬学組成物。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の薬学組成物であって、

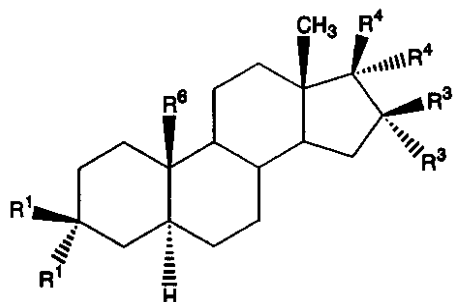
一方の  $R^4$  は、 $-NH_2$ 、 $-NH-C(O)-CH_3$ 、 $-NH-C(O)-(CH_2)_m-CH_3$ 、アミノ酸、もしくは $C_1-8$  アルキルアミンであり、かつ他方の  $R^4$  は、 $-H$ であるか、または両方の  $R^4$  は一緒になって、 $=NOH$ である、

薬学組成物。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の薬学組成物であって、前記化合物は、構造：

【化 1 0 0 4】



を有する、薬学組成物。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の薬学組成物であって、

一方の  $R^1$  は、 $-OH$ 、カルバメート、もしくはカーボネートであり、かつ他方の  $R^1$  は、 $-H$ 、 $-CH_3$ 、 $-CH=CH_2$ 、 $-CCH$ 、もしくは $-CCCCH$ であり；

一方の  $R^3$  は、 $-H$ もしくは $-OH$ であり、かつ他方の  $R^3$  は、 $-H$ であり；そして

$R^6$  は、 $-H$ もしくは $-CH_3$ である；

薬学組成物。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の薬学組成物であって、

一方の  $R^4$  は、 $-NH_2$ 、 $-NH-C(O)-CH_3$ 、 $-NH-C(O)-(CH_2)_m-CH_3$ 、アミノ酸、もしくは $C_1-8$  アルキルアミンであり、かつ他方の  $R^4$  は、 $-H$ であるか、または両方の  $R^4$  は一緒になって、 $=NOH$ である、

薬学組成物。

$m$  -  $\text{CH}_3$ 、アミノ酸、もしくは  $\text{C}_1 \sim 8$  アルキルアミンであり、かつ他方の  $\text{R}^4$  は、 $-\text{H}$  であるか、または両方の  $\text{R}^4$  は一緒になって、 $=\text{NOH}$  である、  
薬学組成物。

【請求項 9】

請求項 1 ～ 8 のいずれかに記載の薬学組成物であって、前記放射線または化学療法の副作用は、好中球減少症である、薬学組成物。

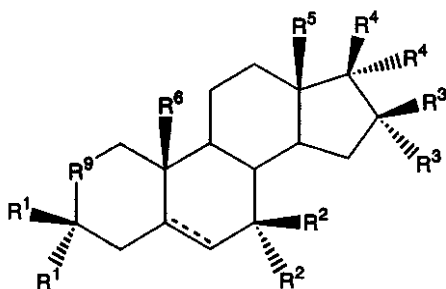
【請求項 10】

請求項 1 ～ 9 のいずれかに記載の薬学組成物であって、前記放射線または化学療法の副作用は、血小板減少症である、薬学組成物。

【請求項 11】

炎症状態を治療、予防、もしくは回復するための薬学組成物であって、該組成物は、構造：

【化 1005】



を有する化合物またはその塩を含み、

一方の  $\text{R}^1$  は、 $-\text{OH}$ 、エステル、エーテル、カルバメート、もしくはカーボネートであり、かつ他方の  $\text{R}^1$  は、 $-\text{H}$  であるかもしくは任意に置換された  $\text{C}_1 \sim 8$  アルキルであるか、または 2 つの  $\text{R}^1$  は、一緒になって、 $=\text{O}$  であり；

一方の  $\text{R}^2$  は、 $-\text{H}$ 、 $-\text{OH}$ 、エステル、エーテル、カルバメート、もしくはカーボネートであり、かつ他方の  $\text{R}^2$  は、 $-\text{H}$  であるかもしくは任意に置換された  $\text{C}_1 \sim 8$  アルキルであるか、または 2 つの  $\text{R}^2$  は、一緒になって、 $=\text{O}$  であり；

一方の  $\text{R}^3$  は、 $-\text{H}$ 、 $-\text{OH}$ 、ハロゲン、エステル、エーテル、カルバメート、もしくはカーボネートであり、かつ他方の  $\text{R}^3$  は、 $-\text{H}$  であるかもしくは任意に置換された  $\text{C}_1 \sim 8$  アルキルであり；

一方の  $\text{R}^4$  は、 $-\text{NH}_2$ 、 $\text{C}_1 \sim 8$  アルキルアミン、 $\text{C}_1 \sim 8$  ジアルキルアミン、 $-\text{NH}-\text{C}(\text{O})-\text{O}$ -任意に置換された  $\text{C}_1 \sim 8$  アルキル、N 結合アミノ酸、 $-\text{NH}-\text{C}(\text{O})-\text{CH}_3$ 、 $-\text{NH}-\text{C}(\text{O})-(\text{CH}_2)_m-\text{CH}_3$ 、 $-\text{NH}-\text{C}(\text{O})-(\text{CH}_2)_m-\text{NH}_2$  であり、 $m$  は、1、2、3、4、5、もしくは 6 であり、かつ他方の  $\text{R}^4$  は、 $-\text{H}$ 、 $-\text{CN}$  であるかもしくは任意に置換された  $\text{C}_1 \sim 8$  アルキルであるか、または両方の  $\text{R}^4$  は一緒になって、 $=\text{NOH}$  であるかもしくは  $=\text{NO}$ -任意に置換された  $\text{C}_1 \sim 8$  アルキルであり；

$\text{R}^5$  は、任意に置換された  $\text{C}_1 \sim 8$  アルキルであり；

$\text{R}^6$  は、 $-\text{H}$  であるかもしくは任意に置換された  $\text{C}_1 \sim 8$  アルキルであり；そして

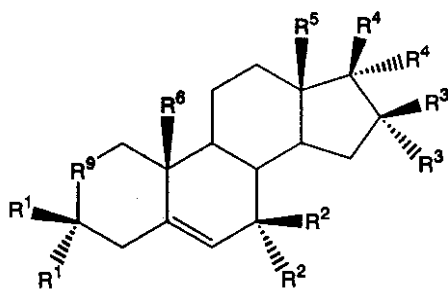
$\text{R}^9$  は、 $-\text{C}(\text{R}^{10})_2$  もしくは  $-\text{O}-$  であり、 $\text{R}^{10}$  は、独立して、 $-\text{H}$ 、 $-\text{OH}$ 、エステル、エーテル、もしくは任意に置換された  $\text{C}_1 \sim 8$  アルキルである；

薬学組成物。

【請求項 12】

請求項 11 に記載の薬学組成物であって、前記化合物は、構造：

【化 1 0 0 6】

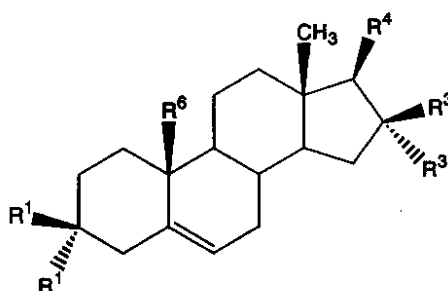


を有する、薬学組成物。

【請求項 1 3】

請求項 1 2 に記載の薬学組成物であって、前記化合物は、構造：

【化 1 0 0 7】



を有する、薬学組成物。

【請求項 1 4】

請求項 1 3 に記載の薬学組成物であって、

一方の R<sup>1</sup> は、-OH、カルバメート、もしくはカーボネートであり、かつ他方の R<sup>1</sup> は、-H、-CH<sub>3</sub>、-CH=CH<sub>2</sub>、-CCH、もしくは-CCCCHであり；

一方の R<sup>3</sup> は、-Hもしくは-OHであり、かつ他方の R<sup>3</sup> は、-Hであり；そして R<sup>6</sup> は、-Hもしくは-CH<sub>3</sub>である；

薬学組成物。

【請求項 1 5】

請求項 1 4 に記載の薬学組成物であって、

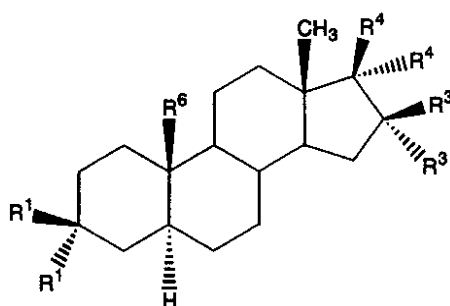
一方の R<sup>4</sup> は、-NH<sub>2</sub>、-NH-C(O)-CH<sub>3</sub>、-NH-C(O)-(CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub>-CH<sub>3</sub>、アミノ酸、もしくは C<sub>1</sub>-<sub>8</sub> アルキルアミンであり、かつ他方の R<sup>4</sup> は、-Hであるか、または両方の R<sup>4</sup> は一緒になって、=NOHである、

薬学組成物。

【請求項 1 6】

請求項 1 1 に記載の薬学組成物であって、前記化合物は、構造：

【化 1 0 0 8】



を有する、薬学組成物。

## 【請求項 17】

請求項 16 に記載の薬学組成物であって、

一方の  $R^1$  は、 $-OH$ 、カルバメート、もしくはカーボネートであり、かつ他方の  $R^1$  は、 $-H$ 、 $-CH_3$ 、 $-CH=CH_2$ 、 $-CCH$ 、もしくは  $-CCCCH$  であり；

一方の  $R^3$  は、 $-H$ もしくは  $-OH$ であり、かつ他方の  $R^3$  は、 $-H$ であり；そして  $R^6$  は、 $-H$ もしくは  $-CH_3$  である；

薬学組成物。

## 【請求項 18】

請求項 17 に記載の薬学組成物であって、

一方の  $R^4$  は、 $-NH_2$ 、 $-NH-C(O)-CH_3$ 、 $-NH-C(O)-(CH_2)_m-CH_3$ 、アミノ酸、もしくは  $C_1-8$  アルキルアミンであり、かつ他方の  $R^4$  は、 $-H$ であるか、または両方の  $R^4$  は一緒になって、 $=NOH$ である、

薬学組成物。

## 【請求項 19】

請求項 11～18 のいずれかに記載の薬学組成物であって、前記炎症状態は、自己免疫疾患である、薬学組成物。

## 【請求項 20】

請求項 19 に記載の薬学組成物であって、前記自己免疫疾患は、多発性硬化症、全身性紅斑性狼瘡、円板状紅斑性狼瘡、クローン病、または炎症性腸疾患である、薬学組成物。